

(続報) ハリケーン *Ida* がカテゴリー4で米ルイジアナ州に上陸

Ida(アイダ)は熱帯低気圧となりましたが、北米東部一帯に記録的な豪雨をもたらして大規模な洪水が発生し、死者の発生も確認されています。本号では、弊社の現地拠点を通じて得た情報とあわせて2021年8月31日号の続報をお伝えします。

1. 北米東部エリアにおける被害状況・物流への影響

アイダは現地時間8月30日には勢力が熱帯低気圧となったものの、その後も北進を続け、ニュージャージー州、ニューヨーク州といった東部エリアを中心に竜巻や記録的な豪雨による洪水被害が発生しました。

ニューヨーク中心部では観測史上最大の一時間雨量となり、地下鉄構内に水が流れ込む等一部運休し、主要道路冠



浸水したニュージャージー州の倉庫 (USA TODAY Network/アフロ)

水に伴う渋滞など、市井への影響は計り知れません。ラ

ガーディア・JFK・ニューアーク等主要空港では飛行機の欠航が相次ぎ、ペンシルベニア州・ニュージャージー州・ニューヨーク州で20万戸を超える家屋が停電の影響を受けています。

現時点では港湾への被害は確認されていませんが、周辺地域に洪水被害が出ている地区もあり、物流が滞る可能性があります。

2. 北米南部エリアにおける被害状況・物流への影響(続報)

ニューオーリンズでは約100万戸がまだ停電中で、安定的電力供給にむけた復旧には長期化の様相をみせています。港湾では、荷役設備に目立った損傷はなく、漂着物・ゴミの撤去作業を開始していますが、電力供給の問題が大きく再開の見通しが立たない状況です。なお、鉄道等の荷役は日中で一部再開されたとの情報を得ています。

現在、大西洋沖には新たなハリケーン Larry(ラリー)が発生しており最大風速は80MPH(36m/s)程度ですが、今後110MPH(49m/s)を超える大型ハリケーンに成長する見込みであり、動向が注視されます。常に最新の気象情報にご注意いただきますようお願いいたします。

【グローバルネットワーク】

今回のハリケーンに関わる事故が発生した場合は、下記サービスネットワーク、弊社コマーシャル損害部または営業課までご連絡いただきますようお願い致します。

TM Claims Service, Inc. (New York)

499 Washington Blvd., Suite 1500, Jersey City,
NJ 07310, U.S.A.

Tel:(212)297-6700 Fax:(212)297-6968

代表アドレス: cargo@tmclaimsservice.com

TM Claims Service, Inc. (Los Angeles)

800 East Colorado Boulevard Pasadena,
California 91101, U.S.A.

Tel:(888)868-1870 Fax:(626)796-5232

代表アドレス: cargo@tmclaimsservice.com



【出典】NOAA <https://www.ncdc.noaa.gov/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリントピックス バックナンバー